

Hello! FUJISEI

No. 191

人口減少が止まらない！

7年連続して減少 過去最多を更新！

● 1年間で24万人もの減少

日本国内で平成25年（2013）に亡くなった死亡数から出生数を差し引いた人口の自然減は24.4万人と推計され、過去最多を更新しました。

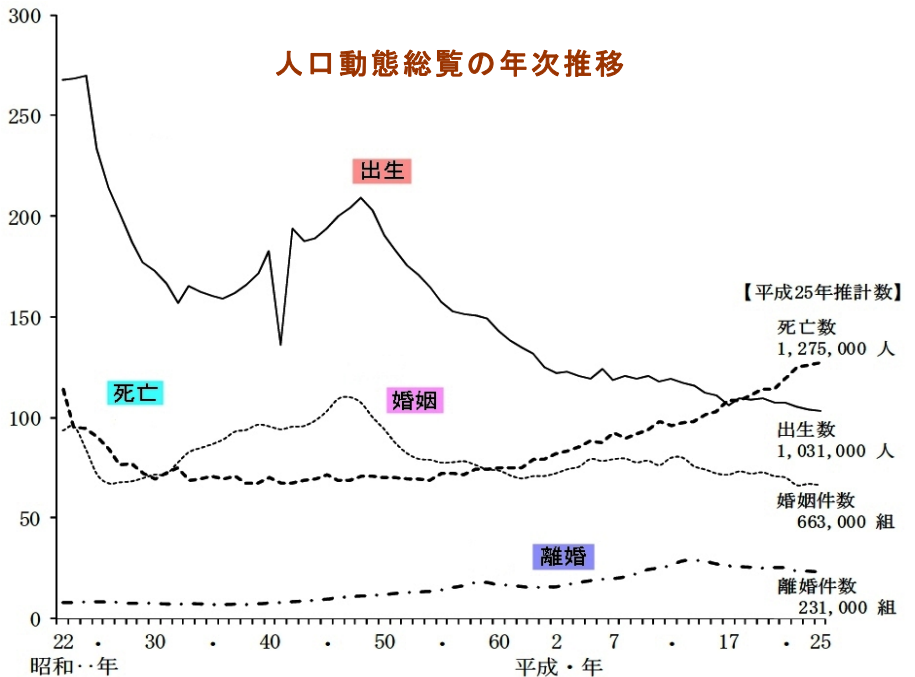
厚生労働省が発表した「平成25年（2013）人口動態統計の年間推計」をみると、人口は平成19年（2007）から7年連続で減少し、そのペースは年々加速しています。

平成25年（2013）の出生数は103.1万人で、前年より6千人少なくなっています。少子化により子供を産むことができる年齢の女性が減少していることと、晩婚化・晩産化が影響しています。一方、死亡数は高齢化の影響により1.9万人増え、127.5万人となる見込みです。出生数は統計をとり始めた明治32年（1899）以降

で最少、死亡数は戦後最多です。

日本の人口は平成17年（2005）に初めて死亡数が出生数を上回り自然減に転じ、翌18年（2006）にはいっ

たん増えましたが、平成19年（2007）からはまた減少が続いています。死因では「悪性新生物」が変わらずダントツの1位です。



死因順位別死亡数の年次推移

死因順位	平成13年 (2001)		18年 (2006)		23年 (2011)		24年 (2012)		25年 (2013)	
	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
第1位	悪性新生物	300 658	悪性新生物	329 314	悪性新生物	357 305	悪性新生物	360 963	悪性新生物	365 000
第2位	心疾患	148 292	心疾患	173 024	心疾患	194 926	心疾患	198 836	心疾患	197 000
第3位	脳血管疾患	131 856	脳血管疾患	128 268	肺炎	124 749	肺炎	123 925	肺炎	124 000
第4位	肺炎	85 305	肺炎	107 242	脳血管疾患	123 867	脳血管疾患	121 602	脳血管疾患	119 000

注：平成24年までは確定数、平成25年は推計数。

厚生労働省「平成25年（2013）人口動態統計の年間推計」